

令和元年度 事務事業総点検シート(1)

[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	国際交流プラザ管理運営事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際
				課	評価責任者(課長名)
					永野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり	無
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	令和 ー 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	「堺市国際化推進プラン(改訂版)」(平成25年3月発行)及び追補版(平成30年3月発行)			
5	事業実施の経緯	堺市では民間国際交流団体が先導的に国際交流活動を行い、行政はその活動を支援するという役割分担のもと、市域の国際化を推進してきた。そのような中、外国籍市民を含め広く市民に対する情報提供及び市民や民間国際交流団体の活動並びに多文化共生のまちづくり推進の拠点として「堺市立国際交流プラザ」を平成22年7月に開設した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市立国際交流プラザ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	国際交流・多文化共生・国際協力を推進する市民および団体・機関ならびに在住外国人		
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	外国人市民が住みやすいまちは、誰もが訪れやすく、住みやすいまちであるという視点から、堺市立国際交流プラザの管理・運営を行い、会議室の使用、書籍の貸出し、DVD視聴等の情報提供を通じ、市民の国際理解の推進を図る。また外国人市民等の活動や支援活動の拠点としての利用促進や堺市立国際交流プラザで実施する事業の充実を図る。		
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺市立国際交流プラザにおいて実施する各種事業(外国人生活支援の推進事業、姉妹友好都市交流事業など)の円滑な運営を確保すべく、主としてハード面の管理運営を行う。		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
		公益社団法人 堺市シルバー人材センター			

Ⅲ. 投入量

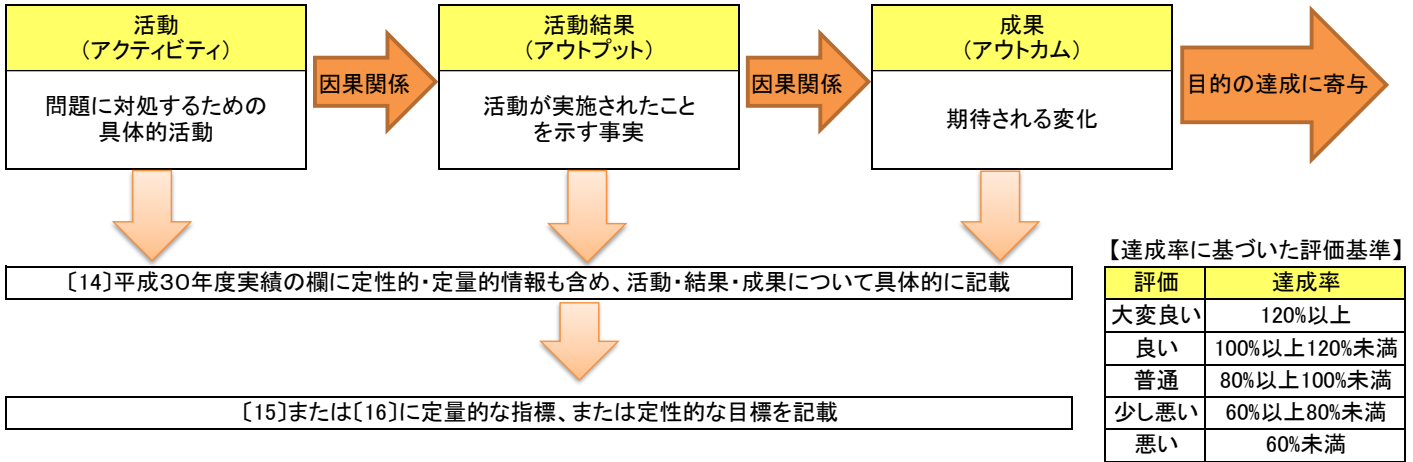
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	16,438	17,107	16,490	19,288	
主な事業費内訳	建物借上料	千円	9,791	9,791	9,791	9,882
	共益費	千円	3,264	3,264	3,264	3,295
	堺市立国際交流プラザ会議室管理業務委託料	千円	942	1,849	1,806	2,272
		千円				
	国・府支出金	千円				
財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	5	11	9	10
	市債	千円				
	その他()	千円				
一般財源	千円	16,433	17,096	16,481	19,278	
12 人件費 (b)	千円	6,110	5,800	6,310	5,750	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	22,548	22,907	22,800	25,038	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	国際交流プラザ管理運営事業	シート番号	08-24
-------	---------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績									
活動実績と成果	14	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流団体の新規登録によって、イベントやセミナーの開催場所として当該プラザの会議室を使用することにより、利用数を増やした。 国際交流(姉妹友好都市、国際理解等)や多文化共生(生活相談、通訳・翻訳、日本語教育など)に関する書籍を増やすことで、リピーターの確保並びに外国人市民などに図書の貸出などを行っている。 庁内の他部署が実施している国際交流・多文化共生等本市国際化施策に関連する事業・イベントを本プラザの会議室で利用するよう促すとともに、国際課主催の事業では積極的に会議室を利用するよう、開催時期などの可能な限り調整し、利用者数や利用率を増加させた。 							
		15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			来館者数	人	目標値	11,000	11,000	11,000	11,000
					実績値	6,576	7,203	7,572	
	達成率				60%	65%	69%		
	評価	少し悪い	少し悪い	少し悪い					
	算出方法・設定根拠など		利用状況統計						
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
		会議室稼働率	%	目標値	70	70	70	70	
				実績値	65	78	81		
達成率				93%	111%	116%			
評価	普通	良い	良い						
算出方法・設定根拠など		利用状況統計							

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
17	外国人市民や国際交流に関心のある市民を対象に、施設の利用を促した結果、前年比に4%~5%の伸びを確保することができた。しかしながら、会議室利用は、日本人を対象とした語学講座がほとんどを占め、外国人市民の生活支援を施設が十分に担えているとは言い難い。引き続き、市民意識調査結果を参照しながら、外国人市民のニーズを拾い上げ、参加できるような講座やセミナーを誘致して、施設の利用を促していく。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。